

令和 5 年度

学生によるオレンジリボン運動

千里金蘭大学看護学科 実施報告書



実施主体 看護学科 母性看護学・助産学領域

実施内容 オレンジリボンや児童虐待予防パンフレット配布、メッセージカードの掲示

令和 5 年 11 月 1 日より学内掲示にて啓発活動、発表会 12 月 19 日

①事前に取り組んだ内容

2 年生の母性看護対象論や助産学概論の講義の中で、オレンジリボン運動や児童虐待の現状、予防等を講義しました。助産学概論履修生へは、「新聞記事からみた児童虐待について」という課題を与え、常日頃から新聞記事に目を通し、虐待の新聞記事を集め自分の意見や感想をまとめておくように説明しました。施設見学で来校の高校生へは、ポスター掲示やパンフレットやオレンジリボンを準備・設置しました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・助産学概論履修生は、学生間で新聞記事の検索後に、虐待の現状や予防等についてグループワークを行い、資料作成後に発表会を開催しました。
- ・11 月の児童虐待予防月間、予防策等を紹介し、オレンジリボンを配布し児童虐待に関心を持ってもらう機会としました。

③オレンジリボン運動を終えて…

オレンジリボン運動や児童虐待について学び、啓発活動を進めていく上で、今回は新聞記事を活用し、児童虐待への関心を高めることができました。発表会の中で、「虐待を受けた子どもは“育て直し”が必要」という学生からの言葉がとても印象に残りました。

今後も、児童虐待予防や早期発見の啓発活動を続けていきたいと考えます。



【千里金蘭大学看護学科】 <https://www.kinran.ac.jp>